

第 73 回 日本ユネスコ運動 全国大会 in 仙台
「仙台ユネスコ協会 青年部による発表」について (お願い)

仙台ユネスコ協会 青年部

はじめに

2017年に仙台で行われる「第73回 日本ユネスコ運動 全国大会 in 仙台」で私たち仙台ユネスコ協会青年部による発表を行わせていただくことになりました。発表をするうえで、各ユネスコ協会青年部、およびユネスコクラブにご協力をお願いしたいことがあります。お願いしたいことを下記にまとめましたので、ご確認ください。

全国大会について

民間ユネスコ運動 70 周年記念

第 73 回 (2017 年度) 日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台

大会テーマ「発祥の地 仙台から世界へ UNESCO 憲章の理念を未来に!」

日時：2017年7月15日～16日(青年部による発表 15日 14:20～15:20)

場所：仙台国際センター

宮城県仙台市青葉区青葉山無番地

戦後間もない仙台で上田康一氏(1946年当時、外務省東北終戦連絡事務局連絡官)は1946年11月25日付の朝日新聞の記事の中に、ユネスコ憲章の前文「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあるのを読んで深い感銘を受け、ユネスコには強力な民間運動を展開することが必要であると考えた。1947年には仙台にて「ユネスコ協力会」を設立、翌年には「日本ユネスコ協力会連盟」の結成にこぎつけた。「日本ユネスコ協力会連盟」の第1回総会は1948年11月21日仙台で「第2回民間ユネスコ運動全国大会」と同日に開催された。爾来70年、平和を願う民間ユネスコ運動は先人の遺志を継承し各地で活発な活動を展開してきた。

今回の大会では、多くの課題の中で特に1000年に一度の東日本震災の災害、自然環境、先人の築いてきた伝統文化など東北固有の課題に取り組みながら、70年前の原点に立返り世界平和を願い、青少年と共に未来につながるメッセージを発する。

青年部による発表について

発表タイトル

「みらい創造隊 presents 青年部が誘う現在・過去・未来のユネスコ探検ツアー」

《ねらい》

ユネスコの歩みを再確認し、その上で未来を創る若者の活動を紹介する。若者が何を考え、どういふ思いで民間ユネスコ運動に携わっているかを伝える。

《内容》

探検隊が仙台をスタートとして全国を探検し各地の青年活動を調査・報告する。会場にて擬似ウォークラリーを体感してもらう。

ウォークラリーの内容構成は以下の通りである。

- ① ユネスコ会館を舞台に過去 70 年間の民間ユネスコ運動を振り返る
- ② 各ユネスコ協会青年部、およびユネスコクラブの活動を通して、世界の現状に即した新たな青年活動を紹介する
→各地域の青年活動を紹介する。全国には、仙台が昨年からはキャンプを始めたように、ユネスコをみらいへ繋いでいく活動を立ち上げている。それらを包括的に紹介し、青年活動の現状を知ってもらう。
- ③ ①、②を踏まえて、今後の青年民間ユネスコ運動の方向性を考える
→今の青年が何を考えどんな思いで民間ユネスコ運動に携わっているのかを主張し、みらいへの発信とする。

各ユネスコ協会（青年部、およびユネスコクラブ）には上記の②の動画の作成協力をお願いしたいと思います。

依頼内容

各ユネスコ協会（青年部）の下記の 7つの内容を紹介映像（動画、写真、ナレーションを含む）として作成をお願いしたいと思います。

【内容】※所要時間、各ユネスコ協会 3 分間

- ① 団体名
- ② 人数
- ③ 集合写真、メンバーの様子
- ④ 活動風景（イベント、企画段階）
- ⑤ アピールポイント
- ⑥ どういう思いで民間ユネスコ運動に携わっているか、どうしてユネスコを続けているのか
- ⑦ どういう未来を創造したいか

特に ⑥、⑦ に関して、青年部、およびユネスコクラブのメンバー内での話し合いを通して、各ユネスコ協会の特色をそこに込めて頂ければと思います。さらに、ユネスコ憲章や平和と自分たちの活動を結び付けるなど、様々な視点から話し合ってみてください。

作成していただく動画の参考動画を「ユネスコ青年全国大会 2017」にて上映させていただき、より詳細をお伝えしたいと思います。また、仙台ユネスコ協会 Facebook、Twitter にて後日参考動画を公開する予定です。

Twitter : @u_sendai

Facebook : 公益社団法人 仙台ユネスコ協会 青年部

Facebook の QR コード →



各協会、ユネスコクラブにおかれまして、それぞれの活動がある中の依頼で大変恐縮ですが、自分たちの活動を振り返るよい機会にもなるかと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。